

氏名	有 澤 豊 武
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	甲 第 596 号
学位授与の日付	昭和60年3月31日
学位授与の要件	医学研究科社会医学系衛生学専攻 (学位規則第5条第1項該当)
学位論文題目	鉄道車輛整備工場における職業性腰痛の衛生学的研究 — 腰痛の発症状況および腰痛が日常生活に及ぼす影響について —
論文審査委員	教授 緒方正名 教授 田辺剛造 教授 長島秀夫

学位論文内容の要旨

産業現場における腰痛発症の最近の研究の動向は、機械化による労働態様の変化に伴い、重筋労働による発症よりも作業姿勢による発症へ移行している。しかしながら、国鉄K工場の機関車職場では狭い空間での作業が多く、機械化が困難であり、いまだ重筋労働による腰痛発症が問題となっている。

本研究では、この機関車職場の労働者178名を対象に腰痛アンケート調査、および腰痛検診を実施し以下の結果を得た。

当該職場の腰痛有訴率は64%に達しており、これは過去の報告と比較しても高い有訴率であった。また、当該職場は重量物の取り扱いや、不自然な姿勢での作業が多く、これらの作業要因が腰痛発症の原因として関与していることが明らかとなった。

次に、腰痛が日常生活に及ぼす影響について知るために、腰痛の訴えの有無別および検診所見の有無別に20項目の日常生活の不便苦痛の訴えと比較した。その結果、腰痛が日常生活にまで影響を及ぼしていることが明らかになった。

論文審査の結果の要旨

国鉄K工場の機関車職場は狭い空間での作業が多く、機械化が困難であり、重筋労働による腰痛発症が問題となっている点より、機関車職場の労働者を対象に腰痛アンケート及び検診を実施した。

腰痛有訴率は64%と高く、そして重量物の取り扱い、不自然な姿勢が腰痛発症の原因である事が認められた。次いで腰痛が日常生活に及ぼす影響を不便苦痛の訴えより検討し、腰痛が日常生活にまで影響を及ぼしている事が明らかになった。